

長野県社会福祉士会中信地区
2025 年度 活動報告（案）

【地区の基本方針】

地区会員一人ひとりが主体性をもって会に関わり、学習会などの取り組みを通じて互いに資質の向上と連携に努め、地域における社会福祉士の役割を積極的に担い発信する地区活動をめざします。

「中期ビジョン2025」に基づく地区活動を推進していきます。

【今年度の基本計画】

【取り組みの概要】

1 新たなネットワーク構築のために、分野別、世代別、横断的など参加者を意識して学習会を開催します。	・新規会員や未加入者などを対象に交流会を実施しました。
2 会議等の目的に合わせ開催方法を検討し実施します。	・対面を重視、ZOOM 併用の研修も実施しました。（機材と運用に課題があります。）
3 学習会などの情報がタイムリーに伝わるように、中信地区メールアドレスの登録を推進します。	・メールの配信については事務局にて行い、タイムリーな情報発信については SNS の活用（インスタなど）について理事会に提案、検討がされました。
4 社会福祉士としての役割や社会福祉士会の活動の裾野を広げるため、説明会（社会福祉士ってなんだ）の企画を継続実施します。	・松本大学の学生との交流を実施。各分野の日々の実践について説明をしました。
5 ICT（情報通信技術）を活用し、ZOOM と対面を組みあわせて地区活動の推進をはかります。（2. 3. と関連します）	・機材が限られていること。会場のネットワークによる不具合などへの対処。その対応ができる人材の育成が課題です。
6 今後の地区活動を考え、活動を担う会員を増やしていきます。	・地区会員を講師に学習会を実施。希望者対象で懇親会（交流）も実施しました。

【年間の活動実績】 ○会議 9 回 ☆学習会等 5 回

月	主な取り組み
25 年 4 月	○地区 3 役会（4 日、28 日）ZOOM
5 月	○地区役員会（27 日）ZOOM
6 月	○県士会定時総会・まるごと学会（14 日） ○4 地区 3 役合同会議（19 日）ZOOM
7 月	○地区 3 役会（8 日）ZOOM ☆中信地区交流会（名刺交換会）（19 日）参加者 18 名 対面
8 月	
9 月	○地区 3 役会（12 日）
10 月	☆中信地区学習会（13 日）参加者 30 名 対面 実践報告「 塀の外へのバトンの渡し方～少年刑務所における社会福祉士の役割を考える～」 講師 小林和恵氏（中信会員） ○地区 3 役会（21 日） ZOOM

11 月	☆大北ブロック学習会（9日） 参加者25名 ハイブリッド 司法と社会福祉士の関りについて考える研修会 講師 宮井麻由子氏（弁護士） 、吉澤利政氏（本会会長） ○地区3役会（30日）ZOOM
12 月	☆社会福祉士ってなんだ？ 松本大学学生との交流 対面 会員 5名（内3名が初参加） 学生 25名 分野ごとの実践を報告。その後、5つのグループに分かれて意見交換 を行った。
1 月	地区役員会→メールにて情報共有
2 月	○☆2025 年度地区総会・セミナー・交流会（7日塩尻えんぱーく）
3 月	

その他、ブロック会議、2026年福祉まるごと学会（中信開催）開催に向けた打ち合わせ